

2021年9月24日

花のまちづくりコンクール推進協議会

第31回（2021年）「全国花のまちづくりコンクール」受賞者決定 ～花の社会性がまちをつくる～

花のまちづくりコンクール推進協議会（会長 野路國夫）は、第31回（2021年）「全国花のまちづくりコンクール」の各賞受賞者を、全国応募総数1,031点の中より決定しました。

【コンクール概要】

「全国花のまちづくりコンクール」（提唱：農林水産省及び国土交通省、主催：花のまちづくりコンクール推進協議会）は、1990年開催「国際花と緑の博覧会」の理念「自然と人間との共生」を継承し、1991年より「花のまちづくり活動の発展」及び「花の社会性の向上」を目的に、全国各地の優れた花のまちづくりを表彰しています。

【対象】

全国の「市町村」「団体（学校含む）」「個人」「企業」

【特徴「花の社会性」】

花と人、花と社会との関わり合いの中で、花が社会に及ぼすプラスの影響＝「花の社会性」をいかして、どのようにまちづくりに昇華させたかを審査します。

花の美しさや花壇の出来栄えを競うものではありません。

*花の社会性が及ぼすプラスの影響例：コミュニティづくり、いきいきとした地域づくり、世代間の交流、観光振興、散乱ごみの減量、環境保全、犯罪の減少、など

【花のまちづくり推進協議会 構成団体】

（公財）国際花と緑の博覧会記念協会 （公財）都市緑化機構
（一財）日本花普及センター （公財）日本花の会

【受賞者】

別紙の通り。なお、今年度の表彰式は新型コロナウイルス感染症の状況をふまえて中止します。

【お問い合わせ先】

全国花のまちづくりコンクール事務局：公益財団法人日本花の会（小山・武藤）

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 コマツビル

TEL：03-3584-6531（武藤 080-9093-4568）FAX：03-3584-7695

JP00MB_hananokai@global.komatsu (*JPの後ろは数字「ゼロゼロ」)

<https://www.hananokai.or.jp/city/>

第31回（2021年）全国花のまちづくりコンクール受賞者一覧

応募者数 1,031 件

(市町村部門 2 団体部門 836 個人部門 166 企業部門 27)

賞名	部門	受賞者名	所在地
----	----	------	-----

花のまちづくり大賞（5件）

農林水産大臣賞	団体	檜原ゆうあい会	山口県下関市
	個人	宮野 裕子	富山県砺波市
国土交通大臣賞	市町村	小松市	石川県小松市
	団体	ふかや緑の王国ボランティア	埼玉県深谷市
文部科学大臣賞	団体	みなべ町立高城小学校	和歌山県みなべ町

花のまちづくり優秀賞（11件）

花のまちづくり コンクール 推進協議会長賞	団体	M's Garden みどりの食いしん坊	東京都武蔵野市
		社会福祉法人浄英会 長生保育園	新潟県長岡市
		小瀬戸花いっぱいの会	静岡県静岡市
		園芸ボランティア 掛川フラワーエンジェル	静岡県掛川市
		西宮市立段上小学校 園芸美化ボランティア	兵庫県西宮市
		花てまりの会	和歌山県那智勝浦町
		舞鶴公園フラワー ボランティア	福岡県福岡市
	個人	栗原 實	埼玉県深谷市
		石井 康子	福岡県福岡市
		中野 キミ子	宮崎県宮崎市
	企業	社会福祉法人樂寿会	静岡県静岡市

花のまちづくり奨励賞（11件）

花のまちづくり コンクール 審査委員会賞	団体	東の辻二部町内会環境美化クラブ	茨城県石岡市
		五反田自治会	神奈川県川崎市
		本久自治会 絆・花の会	神奈川県相模原市
		三島市東大場花の会	静岡県三島市
		伊豆の国市商工会女性部	静岡県伊豆の国市
		川崎地区絆づくり	静岡県牧之原市
		緑化クラブKOBE	兵庫県神戸市
		寺本自治会 華の部	兵庫県伊丹市
	個人	佐野 誉志照・恵美子	静岡県浜松市
		齋藤 玉子	静岡県富士市
		湯川 良子	宮崎県延岡市

部門	受賞者名	所在地	受賞者名	所在地
花のまちづくり入選（73件）				
市町村	館山市	千葉県館山市		
団体	会津坂下町立坂下南小学校	福島県会津坂下町	長須交通安全母の会	茨城県坂東市
	東海村立白方小学校	茨城県東海村	五霞町立五霞中学校	茨城県五霞町
	館林市立第一小学校	群馬県館林市	館林市立第四小学校 みどりの少年団	群馬県館林市
	千葉市を美しくする会	千葉県千葉市	習志野台団地 花愛好会	千葉県船橋市
	長岡市立桂小学校	新潟県長岡市	上堀駅を愛する会	富山県富山市
	文京町公園愛護会	富山県富山市	高岡市立醍醐公民館 花と緑の推進部会	富山県高岡市
	市井自治会	富山県射水市	花と緑の銀行 上市支店	富山県上市町
	掛川市立千浜小学校	静岡県掛川市	かわづ花の会 湯ヶ野地区花壇	静岡県河津町
	関田東高砂会	愛知県春日井市	高蔵寺ニュータウン・ ハナモモ桃源郷の会	愛知県春日井市
	グルッポふじとう地域住民 サポーターさくらクラブ	愛知県春日井市	刈谷市小垣江地区自治会	愛知県刈谷市
	いきいき刈谷友の会 ガーデニング部会	愛知県刈谷市	東園グリーン＆フラワークラブ	愛知県尾張旭市
	田原中部地区 景観まちづくり検討会	愛知県田原市	コスモスの丘市民ボランティア	兵庫県神戸市
	網干公園みどりの会	兵庫県姫路市	NPO法人にじのかけ橋	兵庫県西宮市
	名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市	伊丹市フラワーリーダー [＊] 同好会8期生	兵庫県伊丹市
	鶴野中町花家族の会	兵庫県加西市	海南市立翼小学校	和歌山県海南市
	下村花の会	和歌山県田辺市	上屋敷町内会	和歌山県田辺市
	吉尾花の会	和歌山県田辺市	田辺市神子浜町内会	和歌山県田辺市
	田辺市立明洋中学校育友会	和歌山県田辺市	岩出市まちづくり協議会 花のまちIWADe委員会	和歌山県岩出市
	下里とも子ガーデン	和歌山県那智勝浦町	広島市立彩が丘小学校	広島県広島市
	横川第二公園園芸クラブ	広島県広島市	ふれあいガーデン「くすな」	広島県広島市
	高見の森保育園	福岡県北九州市	島原市立第一中学校	長崎県島原市

個人	後藤 光三・圭子	秋田県大仙市	松本 茂治	群馬県館林市
	比嘉 孝	神奈川県川崎市	益田 満智子	静岡県吉田町
	古田 和子	愛知県江南市	諏訪 早苗	兵庫県姫路市
	房谷 弘之	兵庫県姫路市	三村 雅之	兵庫県姫路市
	奥川 きみ子	兵庫県西宮市	中谷 邦子	兵庫県豊岡市
	尾花 幸雄	兵庫県加西市	増田 恵美子	兵庫県南あわじ市
	松本 直美	兵庫県南あわじ市	藤田 妙子	兵庫県朝来市
	寺尾 康男・桂子	兵庫県朝来市	松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市
	苅尾 安正・希美子	兵庫県たつの市	太田 よしの	兵庫県香美町
	植村 悅子	和歌山県和歌山市	桐原 將臣	和歌山県田辺市
	森山 幸代	和歌山県田辺市	那須 幹夫	和歌山県田辺市
	佐々木 裕哲	和歌山県有田川町	森 千明	和歌山県上富田町
	堀 富美子	和歌山県上富田町	大浴 千愛	山口県宇部市
	高島 孝子・直宏・千鶴	香川県多度津町	石津 康子	福岡県北九州市
企業	東京電機工業株式会社	兵庫県姫路市	戸畠なかしま歯科	福岡県北九州市

賞名	部門	受賞者名	所在地
----	----	------	-----

花のまちづくり努力賞（5件）

年輪賞	個人	西脇 澄子	三重県津市
四つ葉賞	団体	社会福祉法人さつき福祉会	大阪府吹田市
若葉賞	団体	富成地域まちづくり振興会	福島県伊達市
		片上まちづくり協議会生活環境部会	福井県鯖江市
	個人	宮崎 桂子	三重県津市

賞名	部門	受賞者名	所在地
----	----	------	-----

今年度から新たに「特別賞」を設けました。

当コンクールにおいて入賞回数が一定数に達した方々の継続的な活動を特別に称えます。

特別賞（29件）			
ゴールド賞 (入賞回数10回)	団体	いきいき刈谷友の会ガーデニング部会	愛知県刈谷市
		鶴野中町花家族の会	兵庫県加西市
	個人	中谷 邦子	兵庫県豊岡市
シルバー賞 (入賞回数5回)	団体	救護施設 誠幸園	青森県十和田市
		長岡市立桂小学校	新潟県長岡市
		掛川市立千浜小学校	静岡県掛川市
		裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会	静岡県裾野市
		関田東高砂会	愛知県春日井市
		がまごおり花フル会	愛知県蒲郡市
		網干公園みどりの会	兵庫県姫路市
		西宮市立段上小学校 園芸美化ボランティア	兵庫県西宮市
		名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市
		NPO法人にじのかけ橋	兵庫県西宮市
		伊丹市フラワーリーダー同好会8期生	兵庫県伊丹市
		すみよいカルチャータウンをつくる会ふるる	兵庫県三田市
	個人	ガーデン苅尾	兵庫県たつの市
		刈谷市小垣江地区自治会	愛知県刈谷市
		寺崎 啓乃	富山県富山市
	個人	市山 由美子	富山県砺波市
		天野 和幸	静岡県浜松市
		益田 満智子	静岡県吉田町
		末松 和佳子	兵庫県神戸市
		諏訪 早苗	兵庫県姫路市
		奥川 きみ子	兵庫県西宮市
		高見 尚子	兵庫県伊丹市
		高木 繁嘉	兵庫県三田市
		尾花 幸雄	兵庫県加西市
		太田 よしの	兵庫県香美町
		宮内 稔・シズエ	福岡県北九州市

花のまちづくり大賞 農林水産大臣賞

「中山間地域での無理なく楽しい花のまちづくり」

団体部門 檜原ゆうあい会（山口県下関市）

高齢化と過疎化が進む檜原地区では、耕作放棄地や荒廃地に雑草が茂り、獣害やゴミ不法投棄が目立ちました。定年帰郷したシニアが現状を憂い、声を掛け合って「檜原ゆうあい会」を2007年に結成。会員30名は道路沿いの約2,000mの花壇や耕作放棄地を整備した地区花壇で活動しています。

活動の基本は「できる人が、できるときに、できるだけ」。自前の花苗を自治会やボランティアと一緒に植え付ける作業では、疎遠になりがちな住民同士の会話が弾みます。育苗や機械作業は得意分野を活かした自主管理なので、会員の意欲も高まります。今では、ゴミ減少や快適な環境づくりなどの地域課題の解決に貢献しています。また、里山を「学びの森、子どもの森」として整備し、児童向けの樹木観察会や在来植物を守る活動にも取り組んでいます。

中山間地域で、住民が無理なく地道に花づくりを楽しみ、協働で景観美化を図り、コミュニティの健全な維持に効果を発揮していることが大変高く評価されました。

「砺波平野の原風景にふさわしい花づくり」

個人部門 宮野 裕子（富山県砺波市）

田畠が広がる緑豊かな散居村のなか、自宅の庭や宅道、沿道を中心に20年間活動しています。地域に相応しい宿根草と一年草を多用して組み合わせ、色彩やデザイン、立体感のある配置に工夫を凝らすとともに、古い農機具の廃物利用で地元の歴史を伝えるなど、地域特色が活かされています。

土づくりでは、秋にコンポストで作った堆肥を、春に牛糞堆肥を漉き込んでいます。屋敷林で伐採した木や古い杭を再利用するなど環境負荷の低減も心掛けています。地域花壇の高波花街道（500m）では、プラグ苗の移植から定植までの約50日間の管理を住民に指導しています。また、集会場や通勤通学路沿いの花壇作りでは、児童クラブや老人クラブを交えた幅広い世代の住民が交流し、各家庭にも花苗を配布するなど、大勢の方々が花に親しむ環境を作っています。

地域の人々との花を通した交流が極めて豊かで、地元の風景や風習の維持および次世代への継承の重要性も認識した活動が大変高く評価されました。

（檜原ゆうあい会）



（宮野 裕子）



花のまちづくり大賞 国土交通大臣賞

「オールこまつで花のまちづくりを推進」

市町村部門 小松市（石川県小松市）

2000年から始めた花のまちづくりは、2013年には市民や行政、企業が一体となった市民共創の「フローラルこまつ」に発展。小松市に訪れるお客様を花いっぱいでもてなしています。587の推進団体と951人の個人会員が、幹線道路沿いや公園、駅などで自主的に花壇管理に努め、個人邸のオープンガーデンや耕作放棄地の花畠化など、市内全域に花のまちづくりが拡大しています。

小松市は、ビルボールド市（ベルギー）から寄贈されたバラ園を「市民の花の活動拠点」とすべく、バラの種類を増やし面積を広げる整備を行い、バラのオーナー募集や各種イベント開催を通して、市民の身近な憩いの場に変貌させています。

「花のまちづくりは人づくり」のもと、花と緑のアドバイザー向け講習会や幼稚園・保育園での花育など、協働活動を支える施策も地道に進めています。ネットを利用した情報発信など、コロナ禍でも創意工夫して花のまちづくりをしっかり展開している優良事例として大変高く評価されました。

「市民が作り、市民が守り育てる、市民の森」

団体部門 ふかや緑の王国ボランティア（埼玉県深谷市）

2009年、ふかや緑の王国ボランティアは、深谷市が埼玉県から譲り受けた園芸研究所跡地にふかや緑の王国を開園し、花が主体の憩いの場として再生してきました。旧研究所の薬用植物を移植したメディカルガーデンや身も心も癒すヒーリングガーデン、サンクンガーデン、花仲間ガーデン、山野草ガーデンなど、園内には15種類のコンセプトを基に、会員100名の高い栽培技術によって魅力的なガーデンが造られており、四季折々の花々を多くの来園者が楽しんでいます。

また、ホタル鑑賞会や野菜の収穫体験、米作り体験など多彩なイベントを開催して市民交流を図るとともに、ボランティアの指導者が小学生を対象に昔の知恵や自然を使った遊びを教えることで子供たちの感性を高めています。

市の施策「心やすらぐ花と緑のまち」づくりの拠点として、広大な敷地を趣の異なる美しいガーデンで構成し、一年を通じて来園者に安らぎや癒しを提供すると同時に、幅広い世代に合った行事や活動が大変高く評価されました。

(小松市)



(ふかや緑の王国ボランティア)



花のまちづくり大賞 文部科学大臣賞

「地域と連携した花育や農業活動で児童が育つ」

団体部門 みなべ町立高城小学校（和歌山県みなべ町）

山々に囲まれた児童 50 名の小規模校で、1980 年に花いっぱい運動を開始しました。卒業生の用務員の方が花育活動を引き継ぎ、4~6 年生で組織される放送・栽培委員会を中心に「心の中に花一輪」を合言葉として四季折々の花を育てています。

種子から育てた花苗を 1~3 年生が鉢や花壇に植付けて、同委員会を中心に児童が管理します。こぼれ種の活用やチューリップ球根の再利用、生態に配慮した組み合わせの工夫も見られます。3 年生は学校下の町道沿い花壇一面に綺麗な花を咲かせて住民を元気づけ癒しています。花壇作りの基本は土づくりと考え、5・6 年生が「高城地域共育協議会」の協力を得て米作りと梅作りを教わる際に発生した藁や糞、剪定枝、落ち葉などは炭や腐葉土として活用しています。

冬の厳しい気候や野生動物の被害への対策を凝らしながら、児童が主体的に植物栽培に取り組み、地域の人々と連携した様々な体験を通して郷土愛も育んでいることが大変高く評価されました。

(みなべ町立高城小学校)

